

新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム 第2ラウンド（認知症と精神科医療）の進め方について

- 検討チームでは、昨年9月から検討を開始し、12月22日に認知症と精神科医療の基本的な考え方について「中間とりまとめ」をまとめた。今回は、認知症の地域連携パスに関する調査結果や、先行事例のヒアリング等を踏まえて、今後の具体的な取組について検討を行う。

- 論点（案）
 - ①認知症疾患医療センター
 - ・センターに求められる機能と整備目標
 - ・ヒアリング

 - ②認知症の地域連携パス
 - ・認知症に関する退院支援・地域連携パスの実態調査結果
 - ・ヒアリング

 - ③認知症に係る精神科医療
 - ・外来医療・入院医療
 - ・ヒアリング

 - ④認知症に係る医療提供体制の在り方
 - ・認知症を考慮した目標値について

○ 検討スケジュール（案）

第1回 5月20日

① 認知症疾患医療センター

○都道府県別整備状況、センターの機能 等

○ヒアリング

熊本県 江口局長（自治体）

熊本大学 池田教授（基幹型センター）

平成病院 坂本院長（地域型センター）

② 認知症に関する地域連携パスの状況

○地域連携パスに関する調査結果

○ヒアリング

大阪大学 数井医師（認知症連携パスの研究）

第2回 6月15日

認知症の精神科医療（外来医療）

○鑑別診断、訪問診療・訪問看護、重度認知症デイケア等の状況

○ヒアリング

第3回 6月28日

認知症の精神科医療（入院医療）

○BPSD、身体合併症に関する状況

○診療科間、医療機関間の診療連携 等

○ヒアリング

→7月以降、2回開催し、残りの議論及びとりまとめの予定。